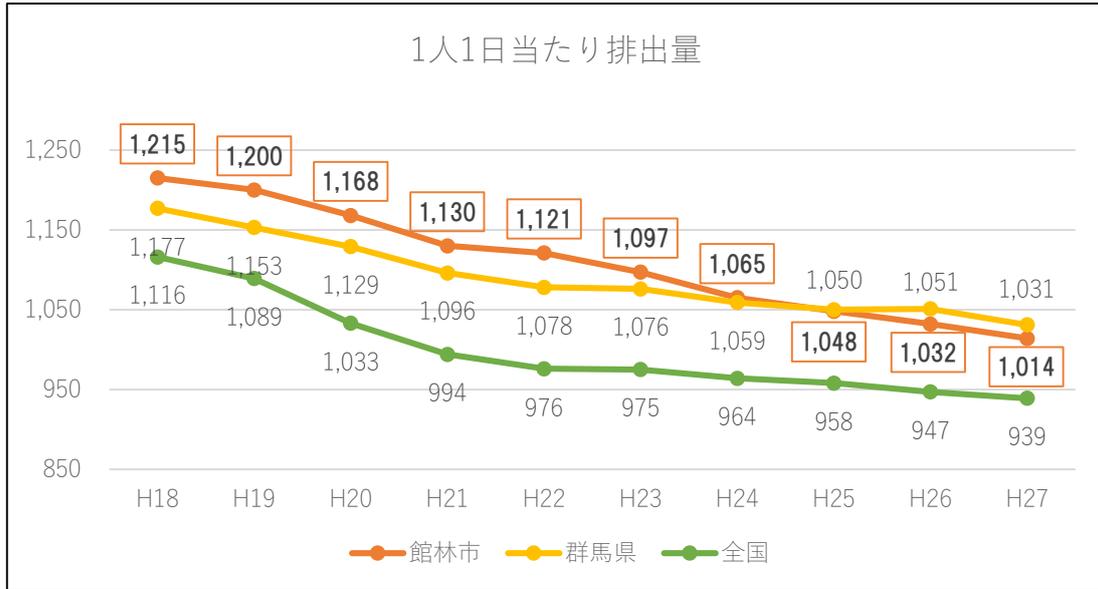


館林市ごみ処理基本計画【概要版】

ごみの現状

ごみの総排出量は減少していますが、館林市民1人1日当たりの排出量は1,014gで、全国平均を上回っています。



ごみ処理の課題

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 課題1 ごみ排出抑制を徹底する | 課題4 事業系ごみ対策を推進する |
| 課題2 分別の徹底を推進する | 課題5 安全で安定した適正処理を行う |
| 課題3 ごみの資源化を推進する | 課題6 処分量の削減を推進する |

計画期間

平成25年度からの10年間を計画期間とし、目標年度を平成34年度としています。また、平成29年度が中間目標年度として設定されていたため、廃棄物を取巻く状況の変化を踏まえ、今回中間見直しを行いました。

平成25年度
初年度

平成29年度
中間目標年度

平成34年度
計画目標年度

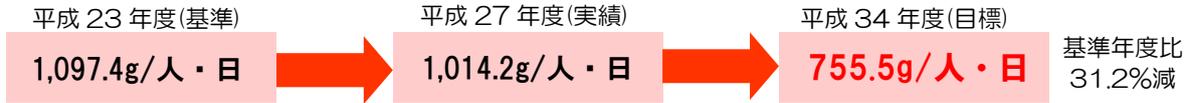
基本理念

市民・事業者・行政が一体となった廃棄物の減量・資源化・再利用・適正処理を推進し、生活環境を保全していく

達成目標

○減量化の目標（集団回収を含む）

1人1日当たりの排出量（g/人・日）



○資源化率（%）



○最終処分量（t）



目標達成に向けた取り組み

■発生抑制・資源化計画■

○行政の取り組み

- 教育、啓発活動の充実
- ホームページ・広報によるごみに関する情報の充実
- ごみ減量化・資源化に関する市民のイベントの支援
- 地域に根差した減量化・資源化運動の推進
- 分別収集を徹底することについて意見交換の実施
- ごみの減量化・資源化の工夫について市民の発表の場の提供
- 多量排出業者に対する減量化指導の徹底
- バイオマスの資源化と有効活用
- ごみ処理有料化制度の検討
- 再生事業者の育成
- リユースの推進
- グリーン購入の推進
- 雑誌、プラスチック類および蛍光灯の回収率の向上
- 生ごみの水切り・減量の励行
- 買い物袋持参運動の推進
- 食品ロスの削減
- 先進地事例の研究や近隣市町との交流を推進

○市民の取り組み

- 資源分別収集の活用
- 生ごみの水切り、堆肥化によるごみの減量
- マイバッグの利用の推進
- 使い捨て用品の使用抑制、再生品や詰め替え製品の使用推進
- 食品ロスの発生抑制

○事業者の取り組み

- 自己処理責任の徹底
- 飲食物容器、包装廃棄物等の排出抑制
- 事業者責任における分別回収・リサイクルの推進
- 買い物袋持参運動への協力
- ごみを出さない従業員（社員）教育の実施
- 減量化及び資源化の結果の公表

■収集・運搬計画■

○行政の取り組み

- 集団回収による資源回収の推進
- 公共施設を使った拠点回収
- 小型家電類の資源化の推進
- 新たな分別区分の検討
- 収集方法の検討
- ごみステーションの管理について
- 市民サービスの充実
- 収集・運搬車両の見直し
- 水銀回収の推進

○市民の取り組み

- 分別の徹底
- 集団回収事業への積極的な参加

○事業者の取り組み

- 排出者責任の徹底
- 許可業者による収集と自己搬入

■中間処理計画■

○適正処理の推進

- 適正処理の推進

○資源化の推進

- 民間活用の推進
- 資源化の拡充
- ストックヤードの整備

■最終処分計画■

- 埋立量の削減

■その他の施策等■

○災害廃棄物の処理・処分

- 災害廃棄物処理計画の策定

○市民・事業者・行政の連携

- 廃棄物減量等推進審議会の実施
- 環境美化の推進

○適正処理困難物への対応

- 適正処理困難物対策